

国際学会 ICN2022 への参加

生命農学研究科 動物科学専攻 動物生殖科学研究室

D3 土田 仁美

- 出張先：グラスゴー
- 出張期間：2022/8/3-12
- 出張目的： The International Congress of Neuroendocrinology (ICN 2022) とそのサテライトミーティング 4th World Conference on Kisspeptin 2022 への参加とポスター発表のため

【概要】

イギリス・スコットランドのグラスゴーで開催された ICN 2022 とそのサテライトミーティングである Kisspeptin 2022 に参加し、「Involvement of central dynorphin and β -endorphin signaling in glucoprivic LH pulse suppression and gluconeogenesis/feeding」という題でポスター発表を行った。

【所感】

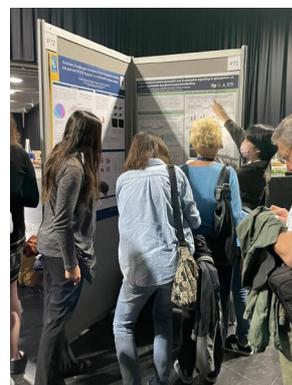
今回初めての国際学会ということもあり、規模の大きさに驚くとともに、世界中の神経内分泌学の研究者が一同に会し議論を行う会場の熱気に圧倒された。ICN 2022 のプレカンファレンスである Kisspeptin 2022 では Kisspeptin という神経伝達物質を研究対象とする研究者が集まり分野も近く、ポスター発表やコーヒブレーク、懇親会もあったので様々な研究者の方々や同世代の学生などと議論することができ有意義な時間を過ごした。ICN 2022 では神経内分泌分野を主とする研究者の方々の発表を幅広く聞くことができ、また興味の湧いた研究者の方には直接議論しに行くこともでき、とても刺激的な経験ができた。

ポスター発表では何十人の方々が発表にいらしてくださり、英語での説明や議論を拙いながら行った。まだまだ英語で議論するには普段から英語をしっかり学ばなければいけないと痛感した。

最後に、このような機会を与えてくださった当研究室の東村博子教授と、ご支援いただいた GTR の皆様に深く感謝申し上げます。



学会会場での様子



ポスター発表の様子